

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。
書肆心水 FAX 03-6677-0682

カール・シュミット入門 思想・状況・人物像

ラインハルト・メーリング著 藤崎剛人訳

四六判 256頁 1800円+税

生けるシュミット、思想と人物、その脱神話化へ

シュミット政治=法学の全体像に迫る研究の最前線

進化を続けるシュミット研究の最前線に立つ総合的概説書。積年のシュミット研究から、シュミットの学問の体系と本質、人物像に迫り、流行言説への安易な援用に再考を促す。自由主義法治国家の解体を分析したシュミットから今日の問いへ。

ラインハルト・メーリング 1959年生まれ。ボン大学とフライブルク大学で哲学、ドイツ文学、政治学を学ぶ。1988年に博士号を取得（フライブルク大学）。非常勤講師、研究員、フンボルト大学哲学研究所助手を経て、2007年よりハイデルベルク教育大学教授。

藤崎剛人 1982年生まれ。東京大学総合文化研究科単位取得退学。専門は思想史、特にカール・シュミットの公法思想。埼玉工業大非常勤講師。

目次

- 1 序論 集団の政治的自由についての法理論
 - 2 「理念」から主権へ
 - 3 国法学による近代憲法の脱構築
 - 4 「第三の国（ライヒ）」の正当化
 - 5 1945年以後のカール・シュミット
 - 6 影響力と時局性
- 年譜 文献 日本語版へのあとがき（2020年）

カール・シュミット（1888-1985）については、これまでも、そしてこれからも論争は尽きない。国法学者として主権理論の提唱者となった彼の立脚点は保守主義にあり、巧みな分析能力や修辞技術によって、機会主義的に、ヴァイマル共和国の大統領体制を擁護したり、「第三帝国の桂冠法学者」となったりした。この入門書でラインハルト・メーリングはシュミットの反個人主義および反自由主義について批判的な論述を行い、シュミットの著作については主に憲法学者の法学的仕事として解釈する。この第五版は大幅な改訂が加えられており、新たな資料に立脚したバージョンとなっている。新たに加えられたあとがきでは、次のような問いが投げかけられている。自由主義的法治国家形式の解体を分析したシュミットは、今日の新しい政治状況下で、再び「時流の作家」として読むことができるのだろうか、と。（原書2017年刊）

新刊
注文扱返条付
清藤

番線等

部

カール・シュミット入門

思想・状況・人物像

ラインハルト・メーリング著 藤崎剛人訳

ISBN978-4-910213-24-8 C0032

四六判 256頁 本体1800円+税

2
月
下
旬
刊

FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101
http://www.shoshi-shinsui.com

書肆心水
Shoshi Shinsui

ご注文はJRCへ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。（了解者 JRC 佐藤）